

支援学校のトライやるウィークをサポート

◆地元、西落合の市立青陽須磨支援学校の《トライやるウィーク》が9月29日から5日間にわたって行われ、中学部2年の生徒の職場体験に当区会の16人が延べ32日付添いました。平成23年以来4年目で、須磨区会の主要な活動として定着しています。

◆今年の《トライやる》受入事業所は、神出自然教育園・西神ファーム・地下鉄名谷基地・須磨水族園・北須磨保育センター・北須磨文化センター・西図書館・ピータンハウスなどでした。普通なら立ち入ることのない職場で、日ごろは傍観していたかもしれない生徒たちと触れ合う体験はまさに非日常的です。

◆初めて参加したお二人に聞きました。

中屋好生 (福17・神の谷)

・私がサポートしたのは女子生徒Aさん。行き先は北須磨保育センターでした。防災訓練の日に当たっていたので園児たちと一緒に近くの公園に走って避難したり、園児と並んで給食をいただいたり、玄関先の清掃をしたり、お昼寝タイムのお世話をしたりと、Aさんと同じようにしました。
・《トライやる》初日をがんばって終えたAさんが「楽しかった」と言ってくれ、やっと気が安まりました。
・生徒ひとり一人と向き合っ《自分のことは自分でできる》人に育てようとしておられる先生方の姿が印象に残りました。

広瀬範義 (福18・竜が台)

・西神ファームでシタケの袋詰めとラベル貼りのしごとを体験することになった女子生徒のBさんをサポートしました。
・助言しても反応がとぼしく、ほとんどものを言わないBさんとの接し方に困惑しました。ところが昼食のあとで簡単なマジックをしてみたところ笑顔が出て、真似て自分でもやってみたりしました。少しは通じ合えたようです。Bさんの《トライやる日誌》には「たのしかった」と書かれてありました。
・サポートを終え、改めてご家族、先生方、ファームの方々など関係者のご努力に敬意を表する次第です。

◆上記の2人以外の参加者は次の方々でした。

菅田忠志 (生11、友が丘)・栗田雅夫 (福11、横尾)
井上千加子 (園15、東白川台)・国里吉秀 (生15、神の谷)
水野光明 (福16、東白川台)・吉本清二 (福16、道正台)
青山泰子 (音16、高倉台)・田路義弘 (生17、高倉台)
高津尚之 (福17、菅の台)・神澤揆子 (音17、竜が台)
戸田貞雄 (音17、神の谷)・永野知己 (生18、若草町)
細野恵久 (福3、白川台)

区会主催ウォークラリー大会

開催日時: 10/26(日) 9:30~12:30

集合場所: 多井畑厄除八幡宮の駐車場

ラリーのコース: 奥須磨公園

参加募集数: 30チーム (2~4人/チーム)

お一人でも申し込めますが、チームの組み合わせは

主催者側で決めさせていただきます

申込先: FAX 793-7219

メール hossono-kq@k2.dion.ne.jp

細野恵久

参加申込の期限 10/16 が迫っています。
お急ぎください。

〈わ〉ホームページを開いていますか？

◆最近〈わ〉のホームページを開いてみましたか？

URLは <http://www.wa-net.jp> です。

ぜひご覧になってください。だいぶ変わってきたかと気づいていただけるはずですよ。

◆正直なところ、これまでは「ホームページを見てください」とは言いにくい状態が続いていました。情報を常に新しいものに入れ替えるという最も基本的なメンテナンスが欠けていたからです。

◆本部〈広報〉は今年度からホームページの更新を進めており、須磨区会のページも一新されました。

◆《区会だより》のバックナンバー(ただし8~19号の1面のみ)も載せてあります。これらから区会運営の考え方や経過を読み取っていただければ幸いです。

◆ついで見えておいてほしいのは他の区会のページです。須磨区会と比べて、どこがどう違うのか、学ぶべきことはないかと考えてもらいたいです。

〈わ〉ホームページへの期待

◆これまで〈わ〉の情報はほとんど紙面と口頭で伝えられていました。〈広報〉活動も《ぎやらりーわ》に偏っていました。ところが《ぎやらりーわ》は3か月に1回の発行で、しかも主眼は「記録」におかれています。先行的な情報をタイムリーに伝えるのには適していません。つまり、ここに〈わ〉の情報の空白があったわけです。ホームページにこの空白を埋める役割を期待します。

◆ホームページは「だれ」に向けて情報を発信しているのでしょうか。理事長は会員が対象と言っています。否定はしません。ただ、それがすべてではないはずです。NPOとしてはむしろ外部への発信を優先すべきではないでしょうか。今後の課題にしていきたいものです。

メール配信カバー率は58%どまり

◆情報伝達の効率化に電子メディアの活用は欠かせません。区会でも皆さまに電子メールを通じてお知らせをしたり、また会員から活動の報告をいただいたりしております。しかし、すべての皆さまと電子メールでつながっているわけではありません。

◆9/20現在、区会在籍220人のうち電子メールを配信している方は128人、58%にとどまっています。過去、この比率はだんだん増加してきて、昨年末には58%に達したのですが、その後は横ばいのまま経過しているのです。

◆発信者の都合だけを言うなら100%が望ましいのですが、その実現は到底期待できないでしょう。むしろ残る42%の方への情報サービスをどう補っていくかを考えるほうが現実的ではないかと思えます。

土台は地域ブロック内のつながり

◆シルバー世代どうしの場合、顔を合わせ、声で、あるいは手から手へ伝えるという、人のつながりに頼るやりかたも大切にしたいものです。むしろ、それだけが決め手とは思いませんが、土台にそれが無くては情報が行き渡らないことも事実でしょう。まず地域ブロックの中でのつながりを広げたいものです。

裏面 《本年上半期の活動まとめ》